

平成29年第 1 回
区づくり推進横浜市会議員会議
会議資料

平成 29 年 2 月 7 日
都 筑 区

目 次

平成29年度 都筑区編成予算案 総括説明書	1
平成29年度 都筑区個性ある区づくり推進費 自主企画事業費予算案の考え方	2
自主企画事業費の施策体系	3
自主企画事業費	
施策1 いきいきと健やかに暮らせるまちづくり	
1 地域の子育て力アップ事業 重点 拡充	4
2 つづき健康づくりサポート事業 重点 拡充	6
3 シニア☆スター活躍応援事業 重点 拡充	7
4 都筑区地域福祉保健計画「つづき あい」推進事業	8
5 保育所を拠点とした地域子育て支援事業	9
6 学校・家庭・地域連携推進事業	10
7 青少年健全育成事業	11
8 障害者交流啓発事業	12
施策2 活力とにぎわいあふれるまちづくり	
9 メイドインつづき推進事業 重点	13
10 未来につなぐオリンピック・パラリンピック事業 重点 拡充	14
11 横浜ビー・コルセアーズ応援事業	15
12 つづき“縁”ジン事業	16
13 「図説 都筑の歴史」編さん事業 拡充	18
14 自治会・町内会支援事業 拡充	19
15 文化活動支援・スポーツ振興事業	20
16 街のにぎわいづくり事業	21
17 国際交流・多文化共生事業	22
施策3 安心して暮らせるまちづくり	
18 災害にそなえる自助・共助の推進事業 重点 拡充	23
19 危機管理対策推進事業	25
20 安全・安心なまちづくり事業	27
21 生活衛生推進事業	28
施策4 豊かな環境をいかしたまちづくり	
22 つづき水と緑の魅力アップ推進事業 重点 拡充	29
23 環境にやさしいまち推進事業	30
24 まちづくり総合調整事業	32
25 グリーンマトリックスをいかした自転車・歩行者安全事業	34
26 ハマロードサポーター、公園・緑道愛護会活動推進事業	35
施策5 共感と信頼の区役所づくり	
27 広報・広聴事業 拡充	36
28 区役所改善推進事業	38
温暖化対策プラス事業	
市立保育所における新たな暑さ対策事業 新規	39
区環境未来都市推進事業	
東京都市大学連携によるコミュニティ活動向上プロジェクト	40

※ 重点事業は**重点**、拡充事業は**拡充**、新規事業は**新規**と表記しています。

平成29年度 都筑区編成予算案 総括説明書

＜個性ある区づくり推進費総括表＞

(単位：千円)

区 分	平成29年度	平成28年度	増△減
1 自主企画事業費	102,582	103,021	△ 439
2 温暖化対策プラス事業 ※1	8,600	0	8,600
3 区環境未来都市推進事業 ※2	900	1,000	△ 100
4 一般管理費	655,577	657,555	△ 1,978
(1) 統合事務費	21,245	21,053	192
(2) 区庁舎・区民利用施設管理費	634,332	636,502	△ 2,170
合 計	767,659	761,576	6,083

※1 区役所や地域における温暖化対策の取組を推進するための事業費

※2 区が地域特性を生かした事業を提案し、環境未来都市計画を推進するための事業費

＜内訳＞

1 自主企画事業費

(単位：千円)

施 策	平成29年度	平成28年度	増△減
(1) いきいきと健やかに暮らせるまちづくり	27,859	27,349	510
(2) 活力とにぎわいあふれるまちづくり	22,233	20,768	1,465
(3) 安心して暮らせるまちづくり	16,625	16,181	444
(4) 豊かな環境をいかしたまちづくり	14,893	15,689	△ 796
(5) 共感と信頼の区役所づくり	20,972	23,034	△ 2,062
合 計	102,582	103,021	△ 439

2 温暖化対策プラス事業

(単位：千円)

事業名	平成29年度	平成28年度	増△減
市立保育所における新たな暑さ対策事業	8,600	0	8,600

3 区環境未来都市推進事業

(単位：千円)

事業名	平成29年度	平成28年度	増△減
東京都市大学連携によるコミュニティ活動向上プロジェクト	900	1,000	△ 100

4-(1) 統合事務費

(単位：千円)

	平成29年度	平成28年度	増△減
統合事務費	21,245	21,053	192

4-(2) 区庁舎・区民利用施設管理費

(単位：千円)

区 分	平成29年度	平成28年度	増△減
区庁舎等管理費（光熱水費含む）	239,150	239,718	△ 568
土木事務所管理費（光熱水費含む）	5,285	5,067	218
地区センター等管理費	143,316	143,306	10
ログハウス管理費	7,691	7,691	0
公会堂管理費（光熱水費含む）	32,973	32,982	△ 9
老人福祉センター等管理費	103,353	103,353	0
コミュニティハウス管理費	48,630	48,630	0
区スポーツセンター管理費	39,100	40,921	△ 1,821
都筑多文化・青少年交流プラザ管理費	6,894	6,894	0
その他（広場・遊び場）	440	440	0
区庁舎・区民利用施設修繕費	7,500	7,500	0
合 計	634,332	636,502	△ 2,170

平成 29 年度 都筑区個性ある区づくり推進費 自主企画事業費予算案の考え方

都筑区は、15 歳未満の年少人口の割合が 18 区で最も高く、平均年齢も最も若い活気のあるまちです。一方で、65 歳以上の高齢者人口が将来に向かって増え続けることが見込まれます。そのため、引き続き子ども・子育てへの支援に取り組むとともに、区民の皆様の自発的な健康づくりを支援する取組、シニア世代がいきいきと活躍できる取組を進める必要があります。

また、盛んな農業や区内中小製造業の優れた技術力など都筑区ならではの魅力をいかすとともに、第 33 回全国都市緑化よこはまフェア及び 2020 年に開催される東京オリンピック・パラリンピックといった全市的に推進する大規模イベントを地域のつながりを深めるチャンスととらえ、積極的に取組を進めていく必要があります。

区民の皆様の安全を守る防災対策については、自助・共助による災害への備えを強化しながら継続して取り組む課題です。

こうした観点から、平成 29 年度については、

- 地域の子育てケアアップ
- 健康づくりのサポート
- シニア世代の活躍応援
- 「メイドインつづき」の推進
- 全国都市緑化よこはまフェアを契機とした緑化推進
- 東京 2020 オリンピック・パラリンピック開催に向けた機運醸成
- 災害にそなえる自助・共助の推進

の 7 つについて、特に力を入れて実施していく「重点事業」と位置づけ、積極的に取り組んでいくとともに、その他の事業についても、着実に推進します。

それぞれの取組について、都筑区の地域の力がさらに発揮できるよう、地域づくりや担い手育成の観点を踏まえて進めていきます。

自主企画事業費の施策体系

施策1 いきいきと健やかに暮らせるまちづくり

子育てしやすい環境づくり、健康づくりの支援やシニアの豊富な経験を地域でいかせる取組などにより、誰もがいきいきと健やかに暮らせるまちづくりを推進します。

- 重点** **拡充** 1 地域の子育てケアアップ事業
- 重点** **拡充** 2 つづき健康づくりサポート事業
- 重点** **拡充** 3 シニア☆スター活躍応援事業
- 4 都筑区地域福祉保健計画「つづき あい」推進事業
- 5 保育所を拠点とした地域子育て支援事業
- 6 学校・家庭・地域連携推進事業
- 7 青少年健全育成事業
- 8 障害者交流啓発事業

施策2 活力とにぎわいあふれるまちづくり

区内に多くある農地や優れた技術をもつ中小製造業、都筑区をホームタウンとして活躍するプロバスケットボールチーム「横浜ビー・コルセアーズ」、活発な区民活動など地域の魅力をいかすとともに、東京2020オリンピック・パラリンピックを意識し、活力とにぎわいあふれるまちづくりを推進します。

- 重点** 9 メイドインつづき推進事業
- 重点** **拡充** 10 未来につなぐオリンピック・パラリンピック事業
- 11 横浜ビー・コルセアーズ応援事業
- 12 つづき“縁”ジン事業
- 拡充** 13 「図説 都筑の歴史」編さん事業
- 拡充** 14 自治会・町内会支援事業
- 15 文化活動支援・スポーツ振興事業
- 16 街のにぎわいづくり事業
- 17 国際交流・多文化共生事業

施策3 安心して暮らせるまちづくり

自助・共助・公助による防災の取組や地域の自主防犯組織による防犯活動への支援などを通じて、住み慣れた地域で誰もが安心して暮らせるまちづくりを推進します。

- 重点** **拡充** 18 災害にそなえる自助・共助の推進事業
- 19 危機管理対策推進事業
- 20 安全・安心なまちづくり事業
- 21 生活衛生推進事業

施策4 豊かな環境をいかしたまちづくり

緑地保全や地球温暖化対策を推進することで、環境に優しいまちづくりを行うとともに、都筑区の地域資源である緑道などの安全対策に取り組み、豊かな環境をいかしたまちづくりを推進します。

- 重点** **拡充** 22 つづき水と緑の魅力アップ推進事業
- 23 環境にやさしいまち推進事業
- 24 まちづくり総合調整事業
- 25 グリーンマトリックスをいかした自転車・歩行者安全事業
- 26 ハマロードサポーター、公園・緑道愛護会活動推進事業

施策5 共感と信頼の区役所づくり

正確・適正・迅速な行政サービスの提供、広報・広聴の充実、来庁者満足度向上のための接遇向上などにより、共感と信頼の区役所づくりを推進します。

- 拡充** 27 広報・広聴事業
- 28 区役所改善推進事業

自主企画事業費

※29年度に新たに実施する項目については
下線が引いてあります。

施策1 いきいきと健やかに暮らせるまちづくり

1 地域の子育て力アップ事業 重点 拡充	H29 予算額	H28 予算額	増△減
	945万9千円	870万8千円	75万1千円

地域・学校・団体・区役所が連携し、子育て支援のネットワーク化や地域活動の活性化を図り、子育て世代と地域の交流を進めます。妊娠期から小・中学生までの切れ目のない子育て支援を地域ぐるみで進めていきます。

1 夫婦で子育て応援事業

就労をしている妊婦や父親が参加しやすいように、平日と土曜日に半日コースの両親教室を実施します。

2 外遊び広げ隊事業

乳幼児の保護者が継続して日常的に外遊びが定着するように、29年度は、28年度の6公園から3公園程度選出し実施します。また、親と子のつどいの広場の利用者も外遊びに興味を持つように、広場近くの2公園にて外遊びを実施します。あわせて、継続的・自主的に地域の外遊びの団体や親子が外遊びを実施できるよう支援するため、情報交換会を実施します。

3 子育てネットワーク事業

地域子育て支援拠点 P o p o l a（ポポラ）や区社会福祉協議会、地域ケアプラザと協力して、29年度からは、地域ごとの子育て支援の情報交換会等を実施します。また、自主的に子育てサークルを運営しているリーダーの養育者を対象に、研修や運営支援、情報交換を行います。あわせて、子育て中の養育者が、地域の子育て支援の担い手になったり、子育てグループ活動ができるように、人材育成を行います。

4 虐待等相談及び養育支援事業

養育にうまく対応できていない保護者に対して、訪問員や相談員が継続的な養育支援を行い、児童虐待を予防します。

5 放課後キッズクラブ運営NPO法人設立支援事業

はまっ子ふれあいスクールから放課後キッズクラブへの転換に際し、はまっ子ふれあいスクール運営委員会に対するNPO法人設立支援や、運営開始後に必要な実務的な支援等を実施します。

6 地域が支える子ども達の居場所づくり事業

民生委員・児童委員や地域のボランティア等の協力を得て、様々な課題を持った小学生を対象とした居場所を作り、基本的な生活・学習習慣等が身に付くよう地域の中で支援します。

7 学齢期保護者のネットワークづくり支援事業

小学校入学予定児童のうち、主に就労している保護者を対象に、入学後の不安を解消するため、講演会を実施するほか、放課後児童健全育成事業の紹介や小学校別に情報交換の場を設け、保護者同士の交流づくりを実施します。

8 「つづき育なび.net」推進事業【新規】

スマートフォンやパソコンから乳幼児健診や保育園・幼稚園、医療機関、お出かけスポット、予防接種スケジュールなどの情報を手軽に見られる「つづき育なび.net」の開発及び運用を行います。

【区配事業】母子保健指導事業（こども青少年局）

妊娠・出産・育児について正しい知識を身につけるために両親教室（1コース3回/月）を実施します。

【区配事業】児童虐待防止啓発地域連携事業（こども青少年局）

児童虐待防止の広報啓発、こども家庭支援課の職員を中心とした人材育成や、都筑区児童虐待防止連絡会の関係機関のスキルアップを目的とした研修、講演会等を強化するため、職員研修を3回、関係者向け講演会を1回実施します。

【区配事業】放課後児童育成事業（こども青少年局）

1 放課後キッズクラブ

学校施設を利用し、児童の交流の場と遊びの場・留守家庭児童対応の場の役割を兼ね備えた安全で快適な放課後の居場所を提供します。

2 はまっ子ふれあいスクール

学校施設を利用し、児童の交流の場と遊びの場の役割を備えた安全で快適な放課後の居場所を提供します。

3 放課後児童クラブ（学童保育）

民間アパートや借家・町内会館等において、留守家庭児童を対象に、家庭的な雰囲気を作り出した放課後の居場所を提供します。

【区配事業】寄り添い型学習等支援事業（健康福祉局・こども青少年局）

養育環境に課題がある、生活困窮状態にあるなど支援を必要とする家庭に育つ小・中学生等に対し、将来の進路選択の幅を広げ、自立した生活を送れるようにすることを目的に学習支援等を実施します。

2 つづき健康づくりサポート事業 重点 拡充	H29 予算額	H28 予算額	増△減
	241 万 5 千円	194 万 2 千円	47 万 3 千円

区民の皆様の自主的な健康づくりを支援するため、「都筑区健康アクション」に基づき区役所が一丸となって、保健活動推進員、食生活等改善推進員及び民間企業との協働により運動習慣の定着、食育の推進を中心とした健康啓発を行います。

1 運動習慣の定着事業

定期的に運動する習慣を定着させるため、ウォーキングポイント事業の推進を始めとして、運動するきっかけづくりとなる講座の実施や取組継続のための支援を行います。

2 食育推進事業

子どもたちが健全な食生活を送ることができるよう、親子で参加できるイベントや講座等を実施し、食に関する啓発を行います。

さらに、子どもたちが成長に合わせた切れ目のない食育を受けることができるよう、保育施設や小・中学校の栄養士や保育士、養護教諭等の食育担当者による情報交換会を開催します。

3 がん・生活習慣病予防啓発事業

死因の第1位を占めるがんや健康寿命に影響を与える生活習慣病について、正しい情報の発信と予防啓発の取組として、3歳児健診保護者を対象とした乳がん啓発やたばこパネル展などを開催します。

4 健康づくり環境整備【新規】

保険年金課窓口の待ち時間に、国民健康保険被保険者をはじめとする区民の皆様が直接的に健康づくりに取り組めるよう、映像機器を設置し、座ってできる体操などの映像を放映します。また、健康づくり関連の本を配架した文庫を設置します。

【区配事業】健康横浜21推進事業、よこはま健康アクション推進事業（健康福祉局）
横浜市では「第2期健康横浜21」の基本理念に基づき、「健康寿命日本一」を目指しています。生活習慣及び社会環境を改善することで生活習慣病の発症と重症化を予防し、健康寿命の延伸につなげるため、集団健康教育事業、たばこ対策事業、がん検診・特定健診啓発、給食施設支援、生活保護受給者の健康支援、健康経営企業応援事業などの健康づくり関連事業を実施します。

【局事業】よこはま健康スタイル推進事業（健康福祉局）

市民等が日常生活の中で、楽しみながら継続して健康づくりや社会参加に取り組み、その活動に応じてポイントが貯まる事業を重層的に進めます。（よこはまウォーキングポイント、健康スタンプラリー、シニアボランティアポイント）

3 シニア☆スター活躍応援事業 重点 拡充	H29 予算額	H28 予算額	増△減
	193万8千円	114万7千円	79万1千円

高齢者が住み慣れた地域で、その心身の状態に応じて自立意欲を保ち、互いに支え合い、安心して暮らし続けることができるまち“都筑”の実現を目指します。そのために介護予防・認知症予防などに取り組むリーダーを育成し、身近な地域での活動の場が増えるよう支援します。

1 シニアスター養成講座

地域包括ケアシステムの構築及び地域福祉保健計画を推進する上で課題の一つである「地域活動の担い手不足」の解消を目的に、民間の経験と技術を生かし企画した講座を開催します。自らが中心となって地域活動の場を開催・運営することができる人材を育成することで、地域活動の活性化を図ります。

2 認知症普及啓発事業

(1) 認知症人材育成講座

認知症に関する知識を習得し、地域での普及啓発等の活動に携わる人材を育成します。

(2) 認知症普及啓発活動

地域の方や認知症に関わる団体等が中心となり、企業、小中学校等を対象とした認知症の理解や予防に関する出前講座を実施します。また、区民の皆様が認知症の理解を深めるための講演会を開催します。

3 福祉保健情報提供事業

福祉保健情報コーナー「ふくほの森」の管理・運営、サポートスタッフ（市民ボランティア）を配置します。

チラシ・パンフレットの配布や閲覧資料の紹介、介護施設サービス等の情報提供、申請書類の記載支援、お客様の案内誘導等を行います。

【区配事業】認知症サポーターキャラバン事業（健康福祉局）

認知症に関する正しい知識を持ち、地域や職域において認知症の人や家族を支援する認知症サポーター等を養成します。また、認知症サポーター養成講座の講師役となる認知症キャラバン・メイトを養成します。

【区配事業】地域包括ケア推進事業（健康福祉局）

「横浜型地域包括ケアシステムの構築に向けた行動指針」（28年度策定予定）を基に、区ごとに地域特性に応じた重点取組などを記載する、各区行動指針を策定します。

4 都筑区地域福祉保健計画 「つづき あい」推進事業	H29 予算額	H28 予算額	増△減
		285 万 3 千円	289 万 1 千円

人のつながりを実感し、安心して暮らせる地域づくりを行うため、地域福祉保健の課題解決に向けた自助・共助による取組をさらに意識しつつ、地域福祉保健計画を引き続き推進していきます。

1 地域懇談会の開催

第3期計画推進に向けた地域での課題共有・解決を促進するため、全ての連合自治会町内会・地区社会福祉協議会エリアで地域懇談会を開催します。

2 地域福祉保健計画推進体制強化事業

- (1) 計画の推進を担う地域ケアプラザ等の関係機関をはじめとする関係者や地域住民に対し、地域福祉保健計画の啓発を進めます。
- (2) 地域のつながりづくりや活動の担い手育成支援等のため、職員を対象とした研修を実施します。

3 地域福祉保健活動補助金

「つづき あい基金」への補助を行い、地域での福祉保健活動を支援します。

4 計画情報誌の発行

各地域での地域福祉保健計画を推進する取組を掲載した情報誌を発行し、他地区における地域活動の情報を知ることのできる機会を提供します。

5 都筑区地域福祉保健計画推進委員会等の運営

第3期地域福祉保健計画の推進やその方向性、地域の取組について、学識経験者や区民の意見交換の場として都筑区地域福祉保健計画推進委員会を開催します。

また、「子ども・青少年」「高齢者」等の分野別に意見交換を行う場を開催し、第3期計画を重層的に推進していきます。

6 発表会の開催

計画推進のための各地区の取組を共有する場として、発表会「つづき あいフォーラム」とパネル展を開催します。

5 保育所を拠点とした地域子育て支援事業	H29 予算額	H28 予算額	増△減
	339 万 4 千円	430 万 2 千円	△90 万 8 千円

市立保育所の子育て支援機能を活用し、地域の親子に仲間づくりや身近な相談ができる環境を提供します。

1 おひさま広場（園庭開放）

市立保育所が、子育て中の保護者にとって地域の身近な子育て支援機関となるよう、保育協力者を配置して園庭を開放し、園庭で子どもを遊ばせながら育児相談などができるようにします。

2 休日園庭開放

市立保育所の中川西保育園及び茅ヶ崎南保育園において、民生委員・児童委員など地域の協力者の見守りにより、毎月第3日曜日にも園庭を開放します。

3 給食体験事業

地域の親子が市立保育所の園児と一緒に給食を体験する場を設けます。また、市立保育所職員が保護者へ食事の与え方や食事の作り方について助言します。

4 ほいくえん広場

市立保育所、認可保育所及び横浜保育室等が合同で、保育所の遊びの紹介や育児相談などを行います。親子が参加しやすいように地域ごとに実施します。

【区配事業】市立保育所を活用した保育資源ネットワークの構築事業（こども青少年局）

市立保育所では、民間保育所や幼稚園を含めた施設や人材を保育資源ととらえ、地域の子育て支援を推進するとともに、各保育資源が連携して保育資源全体の保育の質の維持・向上を図っています。市立保育所が核となり地域の親子に対する仲間づくりや身近な相談ができる環境の提供などに努めています。

【区配事業】保育所・幼稚園・認定こども園子育てひろば事業（こども青少年局）

保育所の地域子育て支援事業として市立保育所での園庭開放（おひさま広場）を実施しています。また、同様に民間保育所 18 園でも園庭開放を実施しています。

6 学校・家庭・地域連携推進事業	H29 予算額	H28 予算額	増△減
	440 万 4 千円	447 万 6 千円	△7 万 2 千円

学校・家庭・地域及び行政機関が相互に協力、連携し、子ども・青少年の健全育成及び安心して子育てができる環境づくりを行います。

1 「トツキトウカYOKOHAMA」を活用した命の授業

小学生を対象に、助産師や保健師による講義や保護者による詩集の朗読を通して、両親の子どもを思う気持ちを理解し、命の尊さを知り、人を思いやる気持ちを育む授業を、学校や保護者等と協力して区内の全小学校（22校）で実施します。

2 赤ちゃんふれあい体験事業

中学生に生命の尊さを実感してもらい、早い時期から子育てに対する意識を高めるため、学校や地域の協力を得て、乳幼児や保護者、妊婦と中学生のふれあい体験事業を区内全中学校（8校）で実施します。

3 こども防犯・交通安全推進事業

子どもたちの安全確保のため、警察や土木事務所と連携し、路面標示や電柱巻の新設・補修、交通安全の啓発等を行うとともに、地域や小学校PTAが中心に行うスクールゾーン・防犯対策協議会の取組に対する支援を行います。

7 青少年健全育成事業	H29 予算額	H28 予算額	増△減
	222 万 6 千円	267 万 3 千円	△44 万 7 千円

青少年の健全育成に取り組む団体を支援し、青少年のためのよりよい環境づくりを推進します。また、青少年が自主的に活動できるような事業を実施し、いきいきと活躍できる機会を提供します。

1 青少年指導員活動

地域における青少年の自主的活動や地域環境づくりを推進し、青少年の健全育成を図るために、青少年指導員の活動を支援します。

2 はあとd eボランティア

(1) はあとd eボランティア～中高生のための夏休みボランティア体験～

夏休み期間を利用して、中・高校生が、普段関わる機会が少ない年代や地域の方々と交流し、体験を通じて学ぶことで、新しい自分との出会いや新たな発見ができるきっかけとするために、ボランティア体験事業を実施します。また、中・高校生と地域をつなぐことによって、地域の大人にとっても、中・高校生に出会える場、新たな気づきの場となることを目指します。

(2) はあとd eボランティア プレコース（小学校高学年向け）

既存の中・高校生向け事業と連携して、より早い段階からの意識づけと対象者の拡充を目的に、小学生向け事業を実施します。小学校5・6年生が、地域の大人や中・高校生と共に活動を体験する中で、将来ボランティア活動に関心をもつきっかけを提供します。

3 つづきウォーク&フェスタ

都筑区の魅力の発見や青少年を含む参加者の世代を越えた交流、健康増進を目的とした「つづきウォーク&フェスタ」の実施を支援します。

8 障害者交流啓発事業	H29 予算額	H28 予算額	増△減
	117 万円	121 万円	△4 万円

障害児・者と区民の皆様との交流を図るため、共に参加できる行事の開催を支援し、障害児・者が参加しやすい環境づくりを進めます。また、地域との関係を深めつつ、販売活動等を支援し、障害者の社会参加につなげます。

1 福祉農園事業

障害児・者等が、さつまいもの苗植えから収穫までを体験していただく事業を支援します。

収穫に併せて、舞台上アトラクションや模擬店等を実施し、障害児・者と区民の皆様との交流を一層促進します。

2 障害者地域啓発事業

区民まつり等において、障害児・者が参加しやすい環境をつくることにより、交流の機会を増やすための事業を支援します。

3 障害者地域作業所支援事業

多くの区民の皆様は障害者の活動を理解していただき、障害者の社会参加につなげるため、区民ホール、駅構内、商業施設等において各地域作業所の自主製品の販売活動を支援します。

また、障害者団体が企画するイベント開催等の活動を実施します。

施策2 活力とにぎわいあふれるまちづくり

9 メイドインつづき推進事業 重点	H29 予算額	H28 予算額	増△減
		502 万円	548 万 8 千円

都筑区の製造業の持つ高度なものづくり技術や独創的な製品、区内でとれた新鮮な都筑野菜などの「メイドインつづき」をPRすることにより、販路開拓や地産地消につながる支援を実施します。

1 展示会出展等支援

テクニカルショウヨコハマをはじめとした展示会への出展等を支援し、中小製造業の販路拡大を推進します。

2 企業向けセミナーや講座の開催【新規】

経済局や（公財）横浜企業経営支援財団等と連携した企業向けセミナーや講座を開催し、企業の経営戦略の強化や企業間交流を促進します。

3 地産地消の推進

区内農産物生産者とレストラン等のマッチング、都筑野菜朝市の定期開催（月2回）やイベント開催、都筑野菜マルシェセット（のぼり旗、エプロン、簡易テント、テーブル、野菜結束テープ）の貸出し、都筑野菜使用商品のPRなど、地域の中での地産地消の取組を支援します。

4 収穫体験増進のためのニーズ把握調査【新規】

収穫体験機会の拡大や遊休農地活用のため、農家や区民の皆様アンケートをとり、ニーズを把握します。

5 事業PRイベントの実施

区民の皆様に向け区内企業の活動紹介や都筑野菜の販売・紹介を行うイベントを実施します。

【区配事業】ものづくり人材育成支援事業（経済局）

地域の中小製造業の魅力を発信し関心を高め、若手を中心とした人材の確保につながるため、区と経済局が連携して中小製造業支援を行い、地域経済の活性化を進めていきます。

【区配事業】身近に感じる地産地消の推進事業（環境創造局）

地域発の地産地消の情報発信・PRに資するイベントや広報等の活動を支援します。

10 未来につなぐオリンピック・パラリンピック事業 重点 拡充	H29 予算額	H28 予算額	増△減
		70 万円	40 万円

東京 2020 オリンピック・パラリンピックの開催を契機として、機運醸成を図るとともにオリンピック・パラリンピックを通じて得られる感動や学びを未来に継承します。特に都筑区では、横浜国際プールがオリンピック英国代表チームの事前キャンプ地となるため、「ホストタウン」としての取組を通じ、スポーツはもとより、文化芸術や国際理解など幅広い分野で、まちのにぎわいを創出します。

1 都筑区と英国の文化交流講座の開催【新規】

東京 2020 大会を契機として都筑区と英国の交流が生まれることを想定し、都筑区と英国の相互の文化を知り、2020 年のホストタウンとしてのおもてなしを考えるための講座を開催します。講座の開催にあたっては、都筑多文化・青少年交流プラザと連携し、区民参加の体験型講座とします。

2 ホストタウンPR事業【新規】

2020 年に向けて、英国の事前キャンプ地となることをPRするために、東京 2020 大会の前年に開催されるラグビーワールドカップ 2019TMの盛り上がりをいかし、ラグビーが盛んである「英国」をキーワードとして、相乗的に 2 大会の機運醸成を図り、区民の皆様の関心を高めます。

11 横浜ビー・コルセアーズ応援事業	H29 予算額	H28 予算額	増△減
	60 万円	60 万円	0 万円

都筑区をホームタウンとするプロバスケットボールチーム「横浜ビー・コルセアーズ」のPR活動や地域に根差したチーム作りの支援を行うとともに、地域が一体となってチームを育てる体制づくりに取り組むことで、市民スポーツの振興や地域活性化を図ります。

1 地元応援イベントの実施

地区センターやコミュニティハウスなどの区民利用施設と連携し、子どもを対象とした「世界にひとつだけの ビーコル応援Tシャツ」作成イベント や選手を招聘した交流イベントなど、近隣住民が日常的に集う場を活用した地元プロチームに親しむ機会を提供し、地元ファン層の拡大を図ります。

2 都筑区応援 day の実施

ビー・コルセアーズの本拠地である横浜国際プールでの試合日の中で、区民の皆様には試合観戦を呼びかける都筑区応援 day を実施します。

3 商店街との連携支援

ビー・コルセアーズと商店街との連携企画、イベントの広報協力を行うことで、チームと商店街の連携を引き続き支援し、地域に根差すチーム作りと地元プロスポーツに関わる人々の増加を図ります。

【区配事業】各区とプロスポーツチームとの連携事業（市民局）

プロスポーツチームと区との連携を深め、地域の活性化や地域スポーツの振興を図るため、区が主催若しくは共催し、プロスポーツチームと各区が互いに協力して行う事業を支援します。

12 つづき“縁”ジン事業	H29 予算額	H28 予算額	増△減
	243 万円	255 万 4 千円	△12 万 4 千円

都筑区民活動センターと区民利用施設が協力し、地域の様々な課題解決に取り組む区民の皆様や団体を発掘・育成していきます。また、市民活動・生涯学習を広めることで、区民の皆様が自主的につながり、生きがいを持って暮らせる区を目指します。

1 はじめる（個人支援）

(1) 大人の学級

個人の学びを支援し地域へつなげるため、特定のテーマの学級を開催します。

(2) 輝く女性応援プロジェクト

「女性が住みやすく、活躍できるまち」となるよう、輝く女性を支援するための講座等を開催します。

(3) 地域の読書活動推進事業

読書活動を推進するため、読み聞かせや本の修理に関わることができる人材を育成します。

2 つながる（個人から団体へ）

(1) 広報紙 きっかけマガジン「つづき“縁”ジン」の発行

市民活動・生涯学習をはじめのきっかけを提供するためのツールとして、広報紙を発行します。

(2) 区内の区民利用施設情報交換会

区内施設の情報交換会を行い、ネットワークの強化を図ります。

3 ささえる（団体支援）

(1) 区民活動補助金

市民活動団体が自主的かつ主体的に行う、公益性が高く地域課題の解決につながる事業に補助金を交付します。

(2) 縁ジンミーティング

区民活動センター登録団体へ向け、活動内容のレベルに応じて必要な知識やノウハウについて講座を実施し団体同士での交流を図ります。

(3) つづき^{ひと}交流フェスタ

区内の市民活動団体・グループによる活動内容の発表、団体同士の交流のためのイベントを実施します。

(4) 市民活動・生涯学習合同成果発表会

大人の学級や区民活動補助金を活用した団体が成果を発表します。発表について講評するコメンテーターを配します。

【区配事業】横浜市民の読書活動推進事業（教育委員会事務局）

条例の制定趣旨を踏まえて策定した区の活動目標に基づき、地域全体で読書活動を推進するため市民への普及啓発等の事業に取り組みます。

【区配事業】元気な地域づくり推進事業（市民局）

中期計画（2014～2017）施策 18「参加と協働による地域自治の支援」を推進するため、地域の様々な団体等が連携・協働して行う課題解決の取組に対して、区と局が連携・協議し、方向性を共有しながら支援していく事業です。

身近な地域において、様々な団体が連携し、地域課題の解決に取り組む場を充実させるため、この目標に向けた「組織づくり」「人材づくり」を進めます。

【区配事業】協働の「地域づくり大学校」事業（市民局）

中期計画（2014～2017）施策 18 を推進するため、自治会町内会活動をされている方をはじめ、民生委員等の委嘱委員、ボランティア活動をされている方など、地域で様々な活動をされている皆さんと、区役所の職員が、「協働による地域づくり」を推進するために、地域の課題解決の手法や魅力づくりを学び合う事業です。

現地見学により先進的な取組事例を学ぶとともに、グループワークを通じて課題解決の手法や魅力づくりを学び合います。

13 「図説 都筑の歴史」編さん事業 拡充	H29 予算額	H28 予算額	増△減
	200 万円	100 万円	100 万円

子どもから大人まで都筑区への関心を高め、ふるさと意識やより一層の絆づくりにつなげることを目的に、区制 25 周年にあたる 31 年度の発行を目指して、原始から現代までの都筑区の歴史を総合的にまとめたふるさとづくり委員会が行う「図説 都筑の歴史」の編さんを支援します。編さん主体はふるさとづくり委員会とし、編さんに係る経費は区より補助金として交付します。

1 編さん委員会の開催

都筑区ふるさとづくり委員会の専門分科会として設置された「図説 都筑の歴史」編さん委員会にて基本構想及び執筆要項が策定されました。この基本構想及び執筆要項に基づき、有識者や区民団体代表などの協力を得ながら、執筆者の選定及び原稿案の作成作業を支援します。あわせて、図版として使用する写真や資料の収集及び作成を支援します。

2 刊行イベントの開催

刊行に向けた機運を高めるため、都筑図書館や市民団体、区内区民利用施設などと連携し、各時代の専門家による都筑区の歴史や文化を紹介する講座やパネル展などを刊行イベントと銘打った定期的な開催を支援します。

14 自治会・町内会支援事業 拡充	H29 予算額	H28 予算額	増△減
		228 万 6 千円	205 万 2 千円

既存自治会町内会に対する各種支援を通じ、地域の活性化を図ります。あわせて地域のつながりの希薄化を解消し、地域を活性化していくため、自治会町内会への加入促進を図ります。

1 自治会町内会長感謝会

自治会町内会長感謝会を開催し、永年にわたり尽力された会長に対し、感謝状・表彰状を贈呈し感謝の意を表します。

2 自治会町内会関連事務費

区連会資料を、8月を除く毎月、各自治会町内会あてに配送します。

3 自治会町内会加入促進

戸籍課において転入者へ配布する「転入者向けガイドブック」や「ごみと資源物の分け方・出し方」等の資料を入れた封筒の外面を有効活用し、自治会町内会の加入を案内します。

自治会町内会の加入申込みが身近に行えるよう、区内各駅や区民利用施設においてリーフレットを配布します。

【区配事業】地域活動推進費補助金（市民局）

自治会町内会等が実施する防犯、防災、環境美化など公益性の高い活動やレクリエーション活動などの事業費、総会開催費などの事務費に対して補助を行っています。

【区配事業】自治会町内会館整備助成（市民局）

地域活動の拠点となる自治会町内会館の整備を促進し、身近な活動の場の充実を図るため、会館整備に対する補助を行っています。補助メニューは、新築・増築・改修・修繕などで、整備費の2分の1を補助します。

15 文化活動支援・スポーツ振興事業	H29 予算額	H28 予算額	増△減
		346 万 7 千円	294 万 4 千円

区民の皆様の文化活動を促進し、発表の機会を提供するとともに、地域住民のスポーツの普及活動を推進し、区民の皆様の健康向上や余暇時間の質の向上を図ります。

1 都筑区民文化祭事業

区民による区民のための手作りの文化祭の開催を支援し、世代を超えて都筑の文化を創ります。

2 スポーツ推進委員連絡協議会事業

地域におけるスポーツの普及活動を推進し、区民の皆様の健康向上や余暇時間の質の向上を図るために、スポーツ推進委員の活動を支援します。

3 体育協会活動補助事業

都筑区体育協会が行う各種目別の区民大会の開催や情報提供の支援を行います。

4 都筑ふれあい健康マラソン大会事業

都筑区の魅力である自然豊かな緑道をコースとし、親子でも楽しめるマラソン大会の開催を支援することで、区民の皆様のスポーツ振興と健康増進、異世代交流を図ります。

5 都筑スポーツ・文化賞事業

スポーツ・文化の分野においてめざましい活躍、顕著な功績のあった都筑区にゆかりのある方々を表彰し、さらなる活躍を期待するとともに、区民の皆様のスポーツ・文化活動への関心を高めます。

16 街のにぎわいづくり事業	H29 予算額	H28 予算額	増△減
		448 万円	448 万円

区民の皆様のふるさと意識の向上や、異文化交流によるつながりづくりを目的としたイベントを開催することで、街のにぎわいづくりを目指します。

また、商店街の魅力を地域に発信し、商店街活性化を図ります。

1 都筑区民まつり

区民の皆様に地域に対する愛着やふるさと意識を醸成していただけるよう「第23回都筑区民まつり」の実施を支援します。

2 都筑・ドイツ交流イベント事業

センター北駅前の芝生広場を中心にドイツの冬の風物詩であるクリスマスマーケットを都筑・ドイツ交流イベント実行委員会とともに開催します。

3 商店街魅力発信事業

「都筑区商店街魅力発信ワーキング」を毎月実施し、区内の商店街の効果的な魅力発信方法について検討しながら事業を進めます。「商店街からのラブレター事業」を継続して実施し、区民の皆様と区内商店のつながりを創出します。

【区配事業】 商店街活性化イベント助成事業（経済局）

商店街が中心となり実施するイベント事業に対し補助します。

17 国際交流・多文化共生事業	H29 予算額	H28 予算額	増△減
	125 万円	125 万円	0 万円

外国人及び日本人が共に安心して暮らし、活動できるまちづくりを推進します。外国人への情報提供や日本人との相互交流、青少年の地域活動及び区民の皆様の活動の場の提供のため、国際交流ラウンジと青少年の地域活動拠点の機能を併せ持つ「都筑多文化・青少年交流プラザ」（つづきMY プラザ）の運営を委託し、次の事業を実施します。

1 国際交流・外国人支援事業

外国人のための生活情報提供、外国人支援ボランティアの養成、区民の皆様と外国人との交流と相互の国際理解を図るためのイベント実施、ボツワナ共和国をはじめとするアフリカ交流事業を実施します。

2 市民活動支援

日本語ボランティアの市民活動団体・グループ等の活動場所を提供します。

3 青少年の地域活動拠点づくり事業

中・高校生世代を中心とした青少年が気軽に集い、仲間や大人との交流、さまざまな体験や自主的な企画・運営を行う事業を実施します。

【区配事業】多文化共生推進事業（国際局）

地域の外国人支援及び国際交流の拠点として、多言語での情報提供や相談対応、日本語教室、日本人と外国人の交流事業などを実施する国際交流ラウンジを運営します。

【区配・局事業】青少年の地域活動拠点づくり事業（こども青少年局）

中・高校生世代を中心とした青少年が安心して気軽に集い、仲間や異世代との交流、社会参加プログラム等の体験活動を行う、地域活動拠点づくり事業を実施します。

施策3 安心して暮らせるまちづくり

18 災害にそなえる自助・共助の推進事業 重点 拡充	H29 予算額	H28 予算額	増△減
	204万2千円	210万1千円	△5万9千円

防災・減災講演会及び地域防災拠点運営委員向けの研修会等を開催するとともに、「災害時要援護者支援事業（つづき そなえ）」により、地域における支えあいの取組を支援することで、自助・共助の取組を推進し、地域防災力の向上を図ります。

1 地域防災拠点運営委員会の支援

地域防災拠点運営委員を対象として、地域防災拠点の開設・運営などに関する研修会を開催するとともに、地域防災拠点における訓練を支援します。

2 災害時要援護者支援事業（つづき そなえ）

取組を実施する地域に対して災害時要援護者支援名簿を提供します。また、連合自治会町内会に対し補助金を交付し、地域の実情に合った支援体制づくりを積極的に支援していきます。

3 防災・減災講演会の開催

大規模地震や風水害への備えなどについて市民を対象とした講演会を開催し、防災・減災に関する意識啓発を図ります。

4 鶴見川水系水害対策検討会の開催【新規】

区内を流れる鶴見川水系の流域にお住まいの地域の方とともに、地域の現状や課題、発災時に備えた取組などについて意見交換を行い、地域と一体となって水害対策に関する取組を進めます。

5 補充的避難場所活用事業

多数の避難者で避難場所のスペースが不足した場合や避難場所が機能不能時に代替施設となる補充的避難場所について、地域防災拠点に準じた円滑な開設・運営ができるよう体制づくりを行います。

6 災害時の食の備蓄の普及・啓発【新規】

災害時の食の備蓄の大切さとともに、特に配慮が必要な方への備えについて「食育フェア」「区民まつり」、老人会の会合等の機会をとらえ啓発します。

7 災害時のペット対策事業

各地域防災拠点訓練等で、「災害時のペット対策」についての啓発を行います。

【区配事業】地域の減災行動支援事業（総務局）

市民防災センターへの研修ツアーやその他講習会や研修会を実施することで、地域の防災担い手を育成し、町の防災組織を中心に自助・共助の取組を推進し、「災害に強い人・地域」づくりを支援します。

【区配事業】災害時要援護者支援事業（健康福祉局）

災害発生時に高齢者や障害者等の自力避難が困難な方々（災害時要援護者）の安否確認や避難支援等の支援活動が円滑に行われるよう、日頃からの地域の自主的な支え合いの取組を支援します。

19 危機管理対策推進事業	H29 予算額	H28 予算額	増△減
	647 万 4 千円	582 万 8 千円	64 万 6 千円

大雨や台風による土砂災害や河川の氾濫を想定した風水害対策訓練、地震により負傷者が多数発生したことを想定した災害医療対策訓練などの各種訓練を通じて、関係機関・団体との連携を図ります。これに加えて、区災害対策本部運営訓練を実施し、区の災害対応力強化を図ります。

また、災害時における情報発信・収集を充実させるため、28年度に導入した緊急時情報伝達システムの運用を進めます。

1 災害に対する協議会等の開催

- (1) 「災害対策連絡協議会」や「帰宅困難者対策部会」を開催し、警察署等の関係機関・団体と情報共有や意見交換を行います。
- (2) 「地域医療・保健体制に関する都筑区危機管理対策協議会」や「災害医療連絡会議」を開催し、区医師会等の関係機関・団体と災害医療に関する情報共有や意見交換を行います。

2 各種防災訓練の実施

- (1) 警察署及び消防署等と実施する水防訓練や、区医師会等と実施する災害医療対策訓練及び交通事業者や帰宅困難者一時滞在施設等と実施する帰宅困難者対策訓練を通じて、関係機関・団体との更なる連携強化を図ります。
- (2) 区災害対策本部運営訓練を実施することで、区本部体制及び区職員の災害対応力の向上を図ります。

3 区本部機能の維持管理

- (1) 必要とされる備蓄品や資機材等の維持管理を行います。
- (2) 災害発生時の連絡体制の強化のため、鶴見川及び早淵川沿いに設置された防災広報用スピーカー、市本部等との連絡で用いる無線FAX及び区職員間の連絡で用いる防災携帯電話等の維持管理を行います。

4 緊急時情報伝達システムの運用

災害発生時もしくは災害発生が見込まれる際に、区内の自治会・町内会長等へ必要と思われる災害情報を一斉に電話で知らせるシステムを28年度に導入しました。29年度も引き続き、定期的な訓練発信を行い、登録者数の増加を図ります。

5 防災啓発事業の実施

発災時に迅速かつ的確な避難行動を取っていただくために、防災・生活マップ、土砂災害、浸水（内水・洪水）ハザードマップなどを区民の方へ配布し、日頃から避難所の位置や避難行動について理解を深めていただけるように、災害対策について啓発を図ります。

【区局連携促進事業】 緊急時における迅速、確実な連絡体制の構築事業（総務局）

緊急時における様々な情報受伝達手段の一つとして、緊急時情報伝達システムを活用して、地域との効率的・効果的な情報受伝達体制を確立し、自助・共助の醸成、地域防災力の向上を図ります。

20 安全・安心なまちづくり事業	H29 予算額	H28 予算額	増△減
	772 万 3 千円	793 万 1 千円	△20 万 8 千円

犯罪や交通事故を未然に防ぎ、区民の皆様の安全で安心な暮らしを実現するため、防犯パトロールの支援や消費生活推進員の活動支援、交通安全啓発を行います。

また、駅周辺に集中する放置自転車の対策やバリアフリー空間を確保し、犯罪発生抑制につなげるとともに、街の景観維持に努めます。

1 交通安全運動

都筑交通安全対策協議会を中心に、都筑警察署等関係団体と連携しながら交通安全運動を実施し、交通安全運動に貢献された方々を顕彰します。

2 放置自転車対策事業

自転車等放置禁止区域に適切な自転車利用を行うよう監視指導を行う監視員を配置します。

3 地域防犯活動推進事業

地域防犯活動を行う自治会町内会及び地域の自主防犯のための青色回転灯パトロール隊に対し助成金を交付するとともに、研修会を行うなど活動を支援します。

4 消費生活推進事業

横浜市消費生活推進員の地区活動（悪徳商法に関する研修会、啓発活動、リサイクル活動等）を支援する助成金を交付します。

【区配事業】自転車マナーアップ事業（道路局）

駅周辺にマナーアップ監視員を配置し、放置自転車等の抑制を図ります。

【局事業】LED防犯灯設置事業

一般会計用地等活用メリットシステム（※）を活用して鋼管ポールLED防犯灯を新設します。

※ 一般会計用地等活用メリットシステム

一般会計で所管する土地等を対象に、各区局の創意工夫（候補地の抽出及び地域への売却説明）により売却を実施し、財源の確保を行った場合に、売却収入の2分の1に相当する額を上限として、最大3か年までの配分を可能とする制度です。

21 生活衛生推進事業	H29 予算額	H28 予算額	増△減
		38 万 6 千円	32 万 1 千円

都筑区の食の安全・安心の確保及び動物愛護・適正飼育を推進します。

1 食の安全と安心の確保事業

本市が定める横浜市食品衛生監視指導計画に基づき、食品関係施設への立入検査等を幅広く効率的に実施します。その中で、28年度に引き続き、食中毒発生リスクの高い飲食店（大衆酒場 30 施設）に対する自主管理の強化（加熱中心温度の自己点検等）を重点的に実施します。

2 人と動物が共生できる街づくり

犬や猫等のペットの適正飼育を進めるため、動物愛護週間での長寿ペットの表彰等の啓発事業を行います。

3 安全で快適な暮らし支援事業

区民の皆様向けのハチ駆除支援のため、ハチ駆除器具を補充し、貸出しを行います。

施策4 豊かな環境をいかしたまちづくり

22 つづき水と緑の魅力アップ推進事業 重点 拡充	H29 予算額	H28 予算額	増△減
	277 万円	159 万 5 千円	117 万 5 千円

環境創造局と連携し、区内の貴重な緑地の保全や農地の活用を進めます。さらに、第 33 回全国都市緑化よこはまフェアの開催を契機として、「都筑区花いっぱい運動」を拡充して取り組むとともに、担い手を増やすためのPRを実施します。

また、26 年度に改訂した「都筑区水と緑の散策マップ」を活用し、都筑区の環境資源の魅力を伝えるとともに、今後のマップの更新及び利用者の増加に向けたPRを行います。

1 緑アップの推進

(1) 緑地の保全及び農地の活用

重点的に取り組むべき緑地の保全推進に向けて、環境創造局と連携し、地元等との調整を行います。

(2) 全国都市緑化よこはまフェアを契機とした区内緑化推進

第 33 回全国都市緑化よこはまフェアの開催を契機として、「都筑区花いっぱい運動」を盛り上げ、区内の緑化に取り組みます。「第 2 回 都筑区わが庭・花壇・菜園自慢」でご応募いただいた区内の花や緑の見どころを展示するとともに、区内の様々な緑化の取組をまとめた記録集を作成し発行します。

(3) 池辺市民の森 開園PR【新規】

池辺市民の森の開園に合わせて、身近な緑の保全・活用に向けた取組をPRします。

(4) 「早渕川・老馬谷ガーデン」の維持管理【新規】

地域及び東京都市大学と連携し担い手を広げながら、早渕川沿いの緑の拠点（「早渕川・老馬谷ガーデン」）づくりに取り組みます。

2 都筑区水と緑の散策マップの活用

都筑区水と緑の散策マップの販売促進PRを行うとともに、今後もマップを最新の内容に更新していけるよう情報・意見を収集します。

【区配事業】 第 33 回全国都市緑化よこはまフェア 18 区連携事業（環境創造局）

第 33 回全国都市緑化よこはまフェアの全市的な展開に向けて、開催の周知や盛り上げにつながる各区の取組について支援します。

23 環境にやさしいまち推進事業	H29 予算額	H28 予算額	増△減
	394 万 5 千円	513 万 1 千円	△118 万 6 千円

「温暖化対策」と「3R夢プランの推進」を一体的に進めていくことで、地球環境にやさしいまちづくりを推進します。

1 都筑区温暖化対策・3R夢推進会議

温暖化対策・3R夢の推進に関する情報を共有する会議を行います。

2 温暖化対策推進事業

(1) 次世代自動車活用・普及啓発

区公用車として導入した次世代自動車（電気自動車2台、燃料電池自動車1台）を活用し、各種イベント等でのPRや区内事業者への普及啓発を実施します。

(2) つづきエコ活啓発

区民の皆様一人ひとりが実践しやすい温暖化対策の取組をPRし、「身近なエコフェア」や環境映画上映会を開催します。身近なエコに関する取組をまとめたリーフレットを作成します。

(3) 緑のカーテン事業

区庁舎の緑のカーテンの維持管理及び区内小中学校への育成支援を行います。

3 クリーン・ヨコハマ3R夢推進事業

(1) クリーン推進事業

きれいな街を推進するため、自治会町内会等が実施する地域清掃の支援、美化推進重点地区の定期清掃、駅周辺のポイ捨て防止啓発、不法投棄防止対策、農業専用地区の一斉清掃などを行います。

(2) ヨコハマ3R夢推進事業

3R行動を推進するため、ごみの分別の徹底や 食品ロス削減のための啓発物品を新たに作成 しイベントでPRするほか、東京都市大学と連携した取組や、赤ちゃん会での啓発、小学校等を対象としたリユース図書の配付などを行います。また、生ごみと土を混ぜて堆肥化する取組を地区センター等でPR します。

(3) クリーン・3R夢功労者表彰

街の美化や3R行動の啓発の取組が顕著だった団体・個人を表彰します。

【区配事業】横浜みどりアップ計画「公共施設・公有地での緑の管理」事業（環境創造局）

横浜みどりアップ計画の一環として緑化を実施した公共施設・公有地において、管理水準の向上を図るため、敷地内の緑地の維持管理を支援します。

【局事業】「クリーンタウン横浜」の推進事業（資源循環局）

喫煙禁止地区以外の地域における歩きタバコ防止パトロール及び駅頭等での啓発活動を実施します。（都筑区はセンター南駅、センター北駅、中川駅にて実施）

24 まちづくり総合調整事業	H29 予算額	H28 予算額	増△減
	615 万 5 千円	683 万円	△67 万 5 千円

まちづくりに関する区民の皆様の声を聴き、地域の課題解決等を図るための検討や取組を、関係行政機関や区内企業・教育機関などと連携しながら進めます。また、地域の実情に応じたきめ細やかなまちづくりに向けて、区民主体のまちづくりを支援します。

1 企画調整・情報収集提供

(1) 東京都市大学との連携

地域課題に関する意見交換会（地域連携協力会議）、学生による地域についての研究発表会（地域連携協力発表会）、横浜キャンパスの学生を対象とした都筑区インターンシップ等を行います。

(2) その他企業との連携

企業による学校出前講座（つづき博士倶楽部）や区内立地企業との情報交換を行います。

2 地域まちづくり推進

(1) 地域主体のまちづくりの推進

地域の実情に応じたルールづくりやまちづくりの普及・啓発活動、まちづくりグループへの支援を行います。

(2) タウンセンター周辺地区の活性化

タウンセンター周辺地区の活性化に向けた検討及び取組支援を行います。

3 まちの課題解決

(1) 外出利便性向上の為の地域ボランティアバス（仮）の運行支援

都田・池辺地区における「地域ボランティアバス(仮)」を地域とともに実証運行を行いながら、実証運行期間終了後の運営体制・手法や運行ルート等の再検討を行います。

(2) まちの課題解決事業実施

「都筑区まちづくりプラン」改定作業の中で抽出した課題の解決に向けて取り組みます。

（地域のつどい等における市民意見や現地の実情、制度活用による実現可能性を踏まえ、優先順位を付けながら推進します。）

(3) まちの課題解決に向けた検討

横浜市生活交通バス路線の利用促進PRのため、周知用のポスターをバス車内や自治会町内会の掲示板に掲示するなど、その他のまちの課題解決に向けた検討を行います。

【局事業】 地域交通サポート事業（道路局）

「高齢者等外出支援バスモデル事業」として28年度内に開始予定の「地域ボランティアバス（仮）」の実証運行前後における高齢者等の外出行動の変化など、バス導入による効果検証及び実証運行にかかる支援を区と道路局で連携して行っていきます。

25 グリーンマトリックスをいかした 自転車・歩行者安全事業	H29 予算額	H28 予算額	増△減
	30 万円	30 万円	0 円

自転車・歩行者の安全の確保のため、26年度から「グリーンマトリックスをいかした自転車・歩行者安全事業」に取り組んでいます。27年度に「通行マナーの見える化」を図るため、路面標示などを設置し、安全対策の実証実験を行い、自転車通行を誘導する推奨ルートを取りまとめました。

28年度から自転車歩行者専用道路や緑道での安全を確保するため、自転車・歩行者の安全対策及び通行マナーの啓発に取り組んでいます。

1 自転車・歩行者の安全対策・通行マナーの啓発

区配予算を活用し、自転車歩行者専用道路及び緑道の一部に歩行者優先を前提とした自転車通行の路面標示を整備し「通行マナーの見える化」を行うとともに、幹線道路等への自転車レーン（自転車専用通行帯）整備を行う予定です。

これに合わせ、自主企画事業費では、通行マナーの周知を図るリーフレットを作成し、区内全市立小・中学校の児童・生徒への配布をはじめ、スクールゾーン・防犯対策協議会や区民の皆様を対象とした各種イベント等でのマナー啓発を進めます。

【区配事業】自転車・歩行者の安全対策

道路等の維持・管理（道路局）及び公園の維持管理・運営、整備（環境創造局）の予算を活用し、整備します。

26 ハマロード・サポーター、 公園・緑道愛護会活動推進事業	H29 予算額	H28 予算額	増△減
		172 万 3 千円	183 万 3 千円

身近な道路や公園を清掃、維持管理するボランティア団体に都筑区の状況に応じた支援を行い、活動の活性化を図ります。

1 ハマロード・サポーター事業

各団体が活動拠点で行っている花壇づくりのための花の種や苗などを提供するほか、高齢者や小・中学生などの夏の暑い時期の活動を考慮し、活動時の飲料水を提供します。

また、8月の「道路ふれあい月間」等での活動のPRやパネル展、交流会を開催します。

団体数：43 団体(29 年1月現在)

2 公園・緑道愛護会活動推進事業

都筑区公園愛護会の総会・幹事会等の運営を支援し、パネル展やPR活動を実施します。地域のネットワークの核となる公園の拠点倉庫に、草刈り機など共用の資機材を備えるほか、東方公園ほ場の消耗品等を提供します。

団体数：154 団体（公園愛護会 151 団体、水辺愛護会 3 団体）(29 年1月現在)

【区配事業】ハマロード・サポーター事業（道路局）

ハマロード・サポーター各団体へ清掃用具を提供する等により活動を支援します。

【区配事業】公園愛護会活動等支援事業（環境創造局）

活動面積に応じた報償費等により活動を支援します。

施策5 共感と信頼の区役所づくり

27 広報・広聴事業 拡充	H29 予算額	H28 予算額	増△減
		1,252万3千円	1,337万1千円

区民の皆様に積極的に区の情報を提供し区民生活の利便性を高めるとともに、区行政への理解を深めます。また「市民の声」事業等広聴事業により多様化する区民ニーズや地域の課題を把握し、円滑な区行政運営を図ります。

1 広報よこはま都筑区版発行业

紙媒体発行、PDF版のホームページ掲載を引き続き実施します。8ページでの発行を基本としますが、広く区民の皆様に周知すべき事項を掲載するため、増ページ(12ページ)での発行を4回行います。またアプリによる配信を引き続き行い、新たな読者層の開拓を図ります。

2 インターネット広報

新たな市WEBの構築に向けて、各種写真やデータなどのオープンデータの提供を進めます。

3 PRボックスの活用

毎月10日に広報印刷物の補充等を行うほか、毎月1日には全駅のPRボックス見開き掲示板に最新号を掲示し、イベント・お知らせ等の積極的な周知を行います。

4 都筑区転入者向けガイドブックの発行【新規】

転入者向けに隔年で発行し配布していた「都筑区民生活便利帳」の内容を見直し、ガイドブックを発行します。

5 市民の声事業

窓口・郵送・インターネット等により区民の皆様の提案・意見を直接把握し、区行政に反映させます。

6 区民相談事業

法律相談、司法書士相談、税務相談、行政書士相談、民事調停相談、公証相談、交通事故相談を実施します。

7 地域における多様な広聴の機会等

様々な機会を通じて区民の皆様からご提案やご意見をいただき、区行政に反映させます。

(1) 主要事業説明等

「主要事業説明」を各地区連合自治会町内会単位で行うとともに、広報区版への掲載や、区民ホールでのパネル展示でも周知を行います。

(2) 意見交換会（地域のつどい、区長の気軽にトーク等）

住民相互の話し合いと行政との意見交換や、テーマ型団体と区長との意見交換などを通じ、地域課題について共通の理解を深め解決に向けた検討を行います。

28 区役所改善推進事業	H29 予算額	H28 予算額	増△減
	844 万 9 千円	966 万 3 千円	△121 万 4 千円

区民満足度の向上のため「あったかハートつづき宣言」に基づき、区役所で税理士等による確定申告書の提出・相談、子ども連れのお客様が安心して相談できる環境づくり等を実施します。

1 区役所改善推進事業

- (1) 窓口サービス等の改善を改革推進委員会等で検討のうえ、実施します。
- (2) 人権意識の向上を目的として人権啓発講演会を実施します。

2 区庁舎等環境改善

お客様が使いやすい区庁舎になるよう、レイアウトの変更等を進めます。

3 税理士等派遣事業

確定申告の時期（平成 30 年 2 月 16 日～3 月 15 日）に、税理士等による確定申告に係る相談、指導及び提出を、区民の皆様に身近な区役所で行えるようにします。

4 来庁者サービスアップ事業

窓口の利用者満足度の向上と業務の効率化のため、こども家庭支援課に窓口案内員を配置します。（配置時間：8 時 45 分～17 時）

また、区役所を利用するお子さま連れのお客様が安心して相談できる環境づくりを進めるため、一時託児を実施します。（実施時間：9 時 30 分～15 時 30 分）

温暖化対策プラス事業

市立保育所における新たな暑さ対策事業 新規	H29 予算額	H28 予算額	増△減
	860 万円	0 円	860 万円

効果的に暑さ対策を行うため、新しい暑さ対策技術である「フラクタル日除け※」を区内市立保育所2か所(大熊保育園・みどり保育園)に設置します。また、導入による効果を検証します。

※「フラクタル日除け」とは、

- ・小さな日除けをフラクタル（幾何学の概念）的に並べたもの（従来の日除けは、一枚布）
- ・特定の方向の光を100%遮光
- ・放熱効果が高く日除け自体の温度が上がらず、従来の日除けに比べて日除けからの熱放射を軽減



フラクタル日除け（平成28年7月、横浜赤レンガ倉庫）

【横浜市温暖化対策統括本部ホームページから抜粋】

区環境未来都市推進事業

	H29 予算額	H28 予算額	増△減
東京都市大学連携によるコミュニティ活動 向上プロジェクト	90 万円	100 万円	△10 万円

都筑区内に所在する「東京都市大学」と連携して、海外からの留学生や日本人の留学経験者が地域活動に関わることをきっかけに、区内での留学生の住まい確保・コミュニティ活動の活発化・多文化共生のまちづくりを目指します。

1 大学と地域の連携強化

大学と関係する地域が一堂に会し、年間を通じた事業計画の共有と連携に向けた話し合いの場を設定します。また、地域イベントへの留学生等大学生の積極的な参加を促します。

2 留学生の住まい確保に向けた取組

留学生が地域に入るきっかけづくりとして、出身国・出身地域の暮らしや環境を紹介する都市大留学生カフェを開催します。また、留学生の住まい確保に向けて、留学生が地域で暮らすための具体的支援策に取り組みます。



※都筑区のマスコットキャラクター「つづき あい」
第3期都筑区地域福祉保健計画応援バージョン